

研究部だより

NO.10

DIYショー 編

〇はじめに

先日、「JAPAN DIY HOMECENTER SHOW」を見に行きました。様々なDIYの道具の見本市ですが、一般の方にも公開しており、女性や子供連れのご家族も多く来場しています。様々なものづくり体験ができます。（体験は無料や有料など様々です）



〇体験ブースの紹介

体験ブースには、子供向けの自由工作などが行えるコーナーの他に、親子で楽しめるものづくりコーナーや壁や床の補修、壁紙貼り、リノベーション、電動工具の講習など様々です。年によって違いますが人気のものはあっという間に定員に達します。今回「琉球松のカuttingボード」というものを作ってみました



（製作時間は90分で実費は1500円です。年配の方や女性の方、カップル親子など様々な方が参加していました）

〇琉球松のカuttingボードの製作について

あらかじめ切ってある板材を使い、次の手順で作りました。丁寧に教えてくれて安全に作業できました。

- ① 持ち手の形など簡単なデザインを考える
- ② 電動工具（ジグソー、インパクトドライバー、トリマー）を使用し、板材の切断や穴あけ、面取り
- ③ 持ち手のひもを編む
- ④ レーザー加工でワンポイントのイラストを板に焼き付ける
- ⑤ 素地を紙やすりで磨き、オイルで表面を仕上げる



〇琉球松

今回は琉球松という木材を使用しています。あまり聞いたことがない材料ですが、板目がきれいなことが特徴です。沖縄県の県木に指定されており、琉球王国時代には防風林などに使用されていたようです。板目が詰まっている分、材質はとても固く加工に向かないことから、建材の利用はないようです。木目を活か

して、机の化粧板や木の食器、民芸品等の活用が多いそうです。森林を守るためには、森林の伐採をしないのではなく、木材の活用を増やし、木を育てるために森林の整備が必要だというお話でした。今回はワークショップと木材の展示等を行っていましたが、沖縄の森林管理課が関わっているようで、わざわざ今回のために現地の方が来ていました。



ODIYショーの展示物について 「浄水自転車」

自転車にスーツケースが取り付けられている変わった自転車が展示してありました。防災対策用の自転車だそうです。電気や水道が止まっている際に、自転車をこぐ力を利用してポンプを動かし、高性能フィルターで浄水し生活水を得るものだそうです。自転車メーカーが浄水器の会社とコラボした商品とのことで、自転車に関連した企業が新たな商品開発のために制作したとのことでした。



「見た目の不格好なところがロボコンっぽくて好きです」と話したら、社員の方が笑っていました。

○企業の方に聞いてみました 「商品開発のコツは？」

ペットボトルのお茶を無料で配布しているI社の方に話を聞きました。この会社は政府の備蓄米をいち早く買い付けた会社で、アイデアが生かされた商品開発をしています。「良いアイデアが生まれる工夫」を聞いたところ「お客様目線を大切にユーザーの声を徹底して分析し深堀をしている」、「社員が誰でも自分のアイデアを紹介できる機会がある」などを話してくれました。また、本社が宮城県にあり、震災時の経験から「食」に注目しているとのこと。「パックご飯」の商品をつくるため精米機があり、今回の備蓄米にもいち早く対応できたようです。お米の次は飲料水としてペットボトルの商品展開をしているようです。

○おわりに

様々なイベントを見学し、実際に開発者や企業の方に話を聞くことはとても勉強になります。このイベントは幕張メッセで毎年夏休みの終わりごろに開催されており、来場者が非常に多いことからDIYへの人気は何えます。とても楽しく見学や体験ができ、ものづくりのヒントになるためお勧めのイベントです。

写真：「JAPAN DIY HOMECENTER SHOW 2025」で撮影したもの